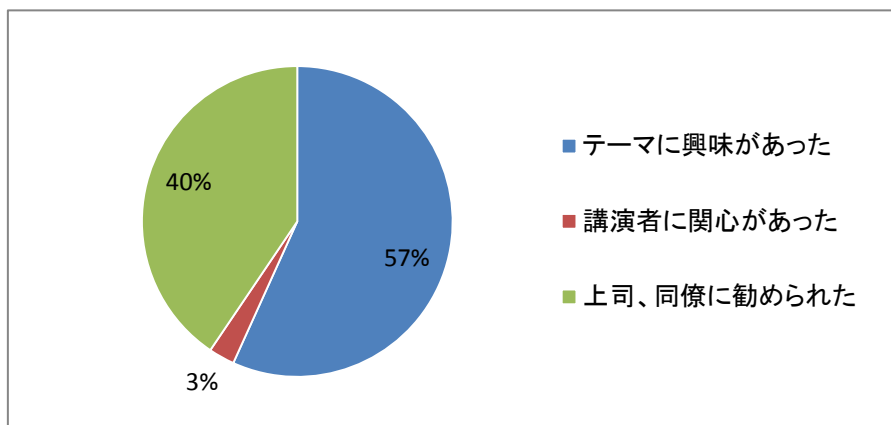


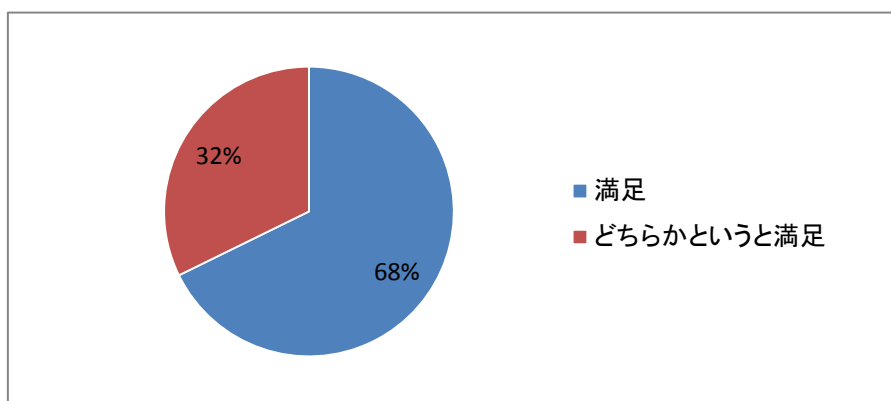
平成 30 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会助成事業ワークショップ  
アンケート 集計結果

※参加者…43名 アンケート回答者…31名（回収率 72%）

1. 参加動機



2. 満足度



3. 感想（自由記述：抜粋）

講義 「大学教育とアクセシビリティ」

- ・ 多種多様な「アクセスしにくさ」というものをまず意識するきっかけになりました。掲示などすぐにとりかかれるものからすぐにとりかかって利用者の困りごとを解消したいです。
- ・ とても興味深いお話ばかりでした。基本的な事からの説明でわかりやすかったです。小さいことからやっていくのが良いとおっしゃっていたので自館に持ち帰って全員と話そうと思いました。
- ・ 大学でなぜアクセシビリティを考えることが重要かが分かりやすいご説明で、よく理解できたと思う。
- ・ アクセシビリティの基本的な概念や取組みについて簡単にまとめて説明していただきわかりやすかったです。
- ・ 合理的配慮についてもう少し知りたかったです。発達障害など見えにくい障害を

もつ人へのサービスについても考えたかった。

#### 事例発表「特別修学支援室と連携して行う 障害のある学生へのサービス ～北海道大学附属図書館の事例～」

- ・ 見ならうべき点が多かった。現時点で自館は身体障害のある学生からのこういったサービスについての質問・要望は来ていないが、いつか起こり得る事なので気をつけたい。
- ・ 誰にでも開かれていると思った図書館の資料が、実はそうではない人達がたくさんいるということが自覚できました。電子資料を切実に必要としている学生の存在を認識できて良かったと思いました。
- ・ 図書館の資料の電子化について制度化してとり組む熱意が感じられる一方、人員確保や予算が厳しい中でどのように継続的に取り組むべきかの課題がある事がわかった。
- ・ 学生同士で支援し合うところが良かった。自館でも、取り入れたいと思った。
- ・ 非常に参考になりました。自館でも支援センター的な所と連携していきたいとします。

#### グループワーク

- ・ 実際に館内を見て、チェックして回れたのは、アクセシビリティというものが、どんなものか理解しやすくなってよかった。具体的にイメージできた。
- ・ 反省の多いワークでしたが、話し合いながら、「うちの大学では…」という話も聞けてよかった。デスクよりいい。
- ・ チェックシートをみながらグループで回れたので、いろいろな視点で確認でき、よかった。
- ・ チェックシートを早速自分の図書館で完成してみたいと思いました。

#### 研修全体（感想、改善点、開催時期・時間など運営に関する事など）

- ・ 共有の時間が短く残念でした。全体的に、自館の改善を考えるいろいろな視点をもてて、よかったです。
- ・ 半日だったがグループワークもあり、大変充実した内容だった。

#### 4. 今後開催してほしいワークショップ・講演会（自由記述：抜粋）

- ・ 留学生への対応
- ・ 図書館と電子リソース（ブック・ジャーナル）と学生 PC 全員必携化の問題と今後の図書館の対応についての講演
- ・ クレーマーや困った利用者に対する対応に関する事など
- ・ 電子 J など海外の雑誌の価格の値上がりに対する取り組み方法などの事例報告をしてほしい。